

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
②一問一答方式

質問件名 子どもと大人がともに学ぶ包括的性教育をすすめよう

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

命の尊さを学び、性暴力根絶を目指して文部科学省が推進する「生命(いのち)の安全教育」が、2023年から全国の小・中学校で実施されています。そこには、「生命を大切にすることや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身に付けることを目指す」とあります。

いっぽう、性教育のあり方として国際的に主流となっている包括的性教育は、体のしくみや生殖のしくみだけでなく、体の権利やジェンダー、性の多様性、コミュニケーション、デートDV、性暴力、ウエルビーイングなど幅広い分野について学ぶ教育です。科学的に体や生殖のしくみを知り、自身の健康を考えるだけでなく、男らしさ、女らしさにとらわれることなく多様な性を含め自分を見つめ、互いに尊重し合いながら人と対等に関わり、性暴力のない社会にむけて、被害者にも加害者にも傍観者にもならないためにも知識を得る人権教育でもあります。包括的性教育は、子どもだけでなく、大人にとっても必要であり、幼児期から行うべきであると考え、以下質問します。

1. 包括的性教育について市及び教育委員会の見解をお示ください。
2. 「生命の安全教育」について市及び教育委員会の取組をお示ください。
3. 東京都教育委員会の研究指定校として2020年から行われている、小平第五中学校における「産婦人科医と連携した性教育の授業」について成果と課題をお示ください。
4. 包括的性教育を幼児期から行うことについて市の見解及び取り組んでいることをお示ください。
5. 人権教育としての包括的性教育を、市民協働・男女参画推進課と地域学習支援課が連携しながら、保護者や子どもに関わる関係者をはじめとする大人に向けても行うべきと考えますが市及び教育委員会の見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2024年5月27日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 柴尾 ひろみ

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)